

I 情報収集提供業務

情報収集提供業務に関しては、主要な畜産物、野菜、砂糖及びその原料作物並びにでん粉及びその原料作物の生産及び流通に関する情報について、収集、整理及び提供を行っている。平成26年度においては、当機構業務であるこれら品目の生産者の経営安定対策、需給調整・価格安定に関連したテーマを中心に、農政上の重要課題である農畜産業の6次産業化、担い手の確保等に向けた取組など、重点化する調査テーマを定め、業務を実施した。

1 情報の収集

(1) 国内

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例及び地域情報等について、機構職員や専門調査員により収集・整理・分析した。

(2) 海外

機構職員による価格・需給データ、需給関連の調査分析報告及び優良事例等の調査等を基本に、国際会議等への参加による情報収集に加え、コンサルタントの活用等により収集・整理・分析した。

2 情報の提供

(1) 定期刊行物による提供

月報「畜産の情報」、「野菜情報」及び「砂糖類・でん粉情報」の発行による提供とともに、別冊統計資料（畜産、野菜、砂糖類・でん粉）を年1回発行した。

(2) ホームページによる提供

定期刊行物に加えて、年報「畜産」、「畜産物市況週報・市況速報」、「地域だより」、「国際情報コーナー」及び「国内統計資料」、「海外統計資料」への掲載による提供を行った。

(3) メールマガジンによる提供

メールマガジンにより、各情報誌の発行情報、海外情報、alicセミナー開催情報等の迅速な提供を行った。

(4) alicセミナー等による提供

本部におけるalicセミナーや地方事務所における地域情報交換会など生産、流通、消費、制度等に関する情報のほか、海外現地調査に関する情報等について、利用者のニーズに応じた情報提供を行った。

3 主要な提供テーマ

(1) 畜産

- ・持続可能な地域酪農を支える「(有)デイリーサポート士別」
- ・北海道におけるコントラクターと農場TMRセンターの現状と課題
- ・成長産業化支援ファンドを活用した地鶏新品種「黒さつま鶏」の生販直結6次産業化
- ・和牛産業の命運を握る繁殖牛増頭対策の課題 ～ J A宮崎中央における農協直営

事業と新規就農者への牛舎貸付事業に学ぶ～

- ・ポークランドグループに見る養豚経営の戦略の展開方向
- ・対日牛肉輸出国の生産・輸出状況（米国、豪州、カナダ）
- ・デンマークの生体豚輸出の現状と課題～養豚産業の効率化と収益性向上に向けた動向～
- ・ブラジルの牛肉生産の実態～豊富な資源を活用した集約的な飼養形態の進展～
- ・米国のWagyu生産の現状
- ・豪州のWagyu生産および流通の現状

（２）野菜

- ・種子供給から販売までの一貫した取り組み～JA全農オリジナルミニトマト「アンジェレ」を中心に～
- ・宮崎県におけるかんしょ輸出の取り組みとその課題～「JA串間市大束の小玉かんしょ」の香港向け輸出を事例として～
- ・遠隔地におけるモーダルシフトの実態と課題～JAいわみざわのたまねぎ輸送の事例～
- ・国産冷凍えだまめの安定供給に向けた取り組み～北海道JA中札内村の事例分析～
- ・加工・業務用野菜生産に取り組む農業経営の課題～JA秋田やまもとの加工用キャベツ生産の事例から～
- ・多様化する米国カット野菜の販売
- ・生産コスト上昇下における中国の野菜輸出の動向と産地の対応

（３）砂糖

- ・徳之島サトウキビ生産の作業受託組織の経営効率性に関する分析と考察
- ・苫前町てん菜生産組合における省力化・低コスト化への取り組み
- ・甘味資源作物の生産性向上に向けた研究動向
- ・地域の特色を生かした甘味資源作物生産の効率化
- ・フィリピンにおけるサトウキビの効率的生産に向けた動き～AEC（ASEAN経済共同体）を見据えたブロックファームの取り組み～
- ・主要生産国および世界の砂糖需給・政策の動向～第22回ISOセミナー報告を中心に～
- ・韓国の砂糖をめぐる情勢～産業としての生き残りの岐路に立つ～

（４）でん粉

- ・種子島におけるでん粉原料用かんしょのバイオ苗普及の取り組み
- ・でん粉原料用かんしょ生産で地域の農地を守る～南九州市知覧町瀬世地区の取り組み～
- ・北海道におけるばれいしょでん粉生産の現状と安定供給に向けた取り組みについて
- ・サツマイモでん粉の特性育種の展開
- ・でん粉原料用ばれいしょの単収向上に向けて～北海道斜里町「ポテト・プロジェクト」

- クト・チーム」の取り組み～
- ・かんしょでん粉の食品利用の拡大～鹿児島協同食品(株)の事例～
 - ・タイのキャッサバの需給動向とエネルギー政策